



広報

にゆうぜん



昭和56年
12月号

— No. 292 —

昭和56年12月1日発行
毎月1回 1日発行
発行所 入善町役場
富山県入善町入膳3255
☎0765-72-1100(〒939-06)

顔 シリーズ12

顔シリーズも今回が
最後となりました。

今月は、商店で働く
お嬢さんに登場してい
ただきました。



しょうしょ 莊所のそばに なぜ河川が？

～じょうべのま遺跡

C地区発掘調査から～

9月28日から行われていた「じょうべのま遺跡C地区発掘調査」が、11月14日で終わりました。

その結果、鎌倉時代の建物の柱穴群や、ほぼ同時代に流れていたとみられる旧河川跡が発見され、今後の遺跡研究に重要な手がかりとなるようです。

遺跡研究に

大きな手がかり

今回の発掘調査は、建設省の海岸保全事業である副堤整備計画が策定されたため、これに先立って遺跡周辺のC地区を発掘し、記録、保存しようというもので、教育委員会が主体となり、富山県埋蔵文化財センターの協力・指導を得て実施されました。

発掘されたC地区は下の図に示すように、現在国の指定史跡となっているA・B地区より50メートル

ル北方の、海岸線に面した2千400平方メートルの部分です。発掘には、文化財センターの岸本雅敏主事が中心となり、地元の中久栄さんら20名の作業員が参加しました。

重要な意味

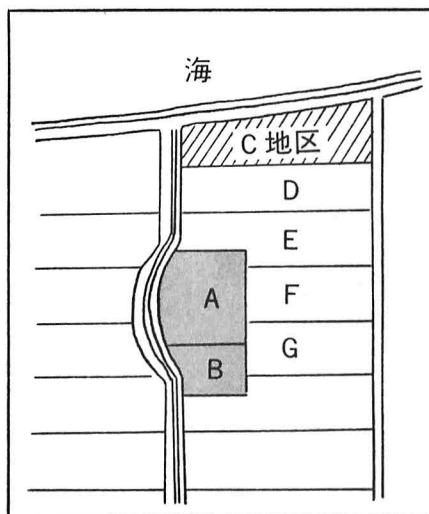
「河川の発見

盛土を取り除いた結果、西方端には溝状遺構群が、東方端には鎌倉時代前期のものと思われる建物の柱穴群が、そして、ほぼ中央を南北に流れる幅20メートル、深さ1.5メートルの中級河川跡が発見されました。

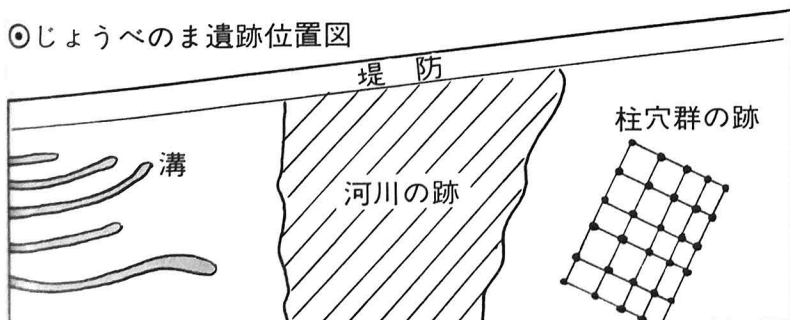
また、河底からは、鎌倉前期の珠洲焼（能登の珠洲地方で焼かれた中世の陶器）や青磁などが、さ

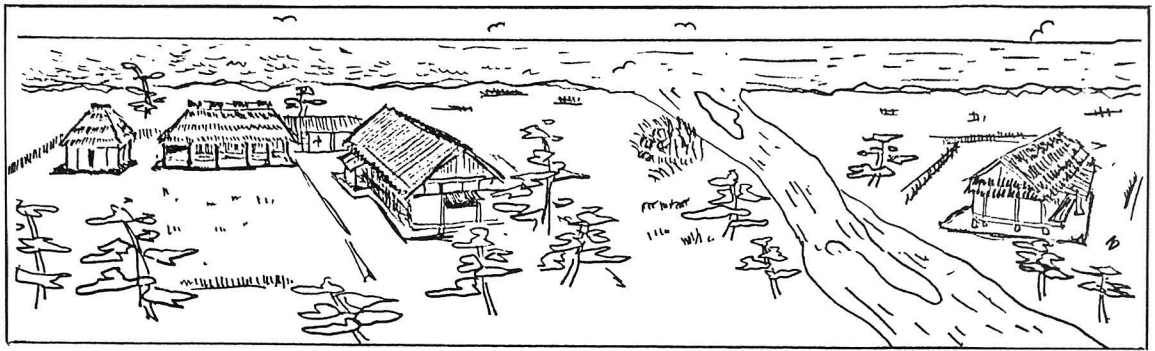
らにその下層部分からは、主に平安時代の土師（ハジ）器、須恵（スエ）器などが出土しました。河川跡の存在は、これまでの予備調査である程度知られていましたが、これほどの河川で、しかも図に示すA・B地区と隣り合わせのD・E・F・G地区に連なっている可能性が確認されたということは、重要な意味を持ちます。

◎ C地区概略図



◎ じょうべのま遺跡位置図





▲ 相当大きい河だ!!、作業員の手にも思わず力が入る。
今回の発掘調査の最大の収穫は、この河川の発見にある。

米の運搬に 利用か？

つまり、この河川はA・B地区の荘所跡と今回発見された建物の遺構群との間を縫って流れていること。また遺物のうち、河底の最下層から出た平安時代のものはA・B地区から廃棄され、その上の部

分の鎌倉時代のものは、C地区の遺構群から廃棄されたのではないかと推定も成り立ちます。また、ここで興味深いのは、幅20メートルもの河川がなぜ荘所跡のすぐそばを流れているか……と

いう点です。恐らく、荘園内で収穫された米が積み出される一つまり、水運のための河川とも推定されます。

荘所跡に 250年の ブランク

ところで、A・B地区の荘所跡を見ますと、平安時代前期に集中して建物が建て替えられており、その他の時代のものは見当りません。一方、C地区の遺構群は鎌倉時代前期のものばかりであることから、この間約250年の年代のブランクがあることがわかりました。この空白をどのように説明すれ

ばいいのでしょうか。岸本さんに伺いますと、「今回発見された遺構群が、A・B地区同様の荘所跡とするならば、平安時代前期に繁栄した荘園が中期以降にいったん衰え、時を移して鎌倉前期に復活したのかもしれない。でも、今後の遺跡周辺調査で、空白を埋めるものが発見される可能性もあり、即断は時期尚早のようです」と話しています。

★ 入善町の発祥の地とも言われる
★ じょうべのま遺跡の全ぼうを明らかにするには、まだまだ多くの時間を必要とするでしょうが、いずれにしても1千年前のわが町を掘り起す調査ですから、興味の尽き
★ ないロマンのあふれる話です。

じょうべのま遺跡

じょうべのま遺跡は、奈良時代末から平安時代前期に属する荘園の荘所(荘園の役所)跡といわれ、昭和54年5月14日には、国の史跡に指定されました。

昭和45年から数回にわたって発掘調査が行われ、たくさんの遺物が掘り出されています。特に珍しいものでは、柱根の下にあった下駄、銀のかんざし、風硯とよばれる大きな硯、「西庄」と墨書きした土器、木の板に「丈部吉稚丸上白米五斗」と書かれた木簡があります。

町民福祉の 向上を目指して

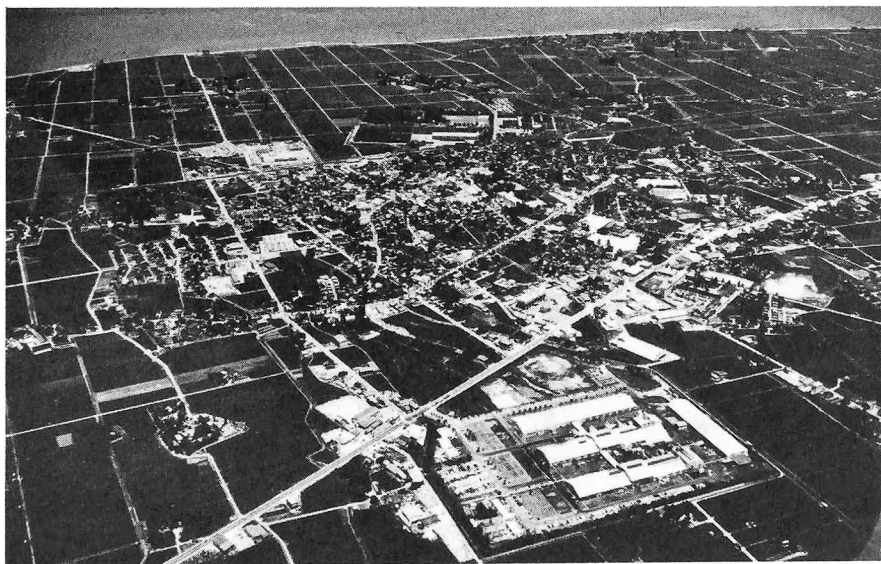
町の総合計画から

昭和60年を目指す入善町総合計画は、5年間を単位とする基本計画をもとに、3年ごとの実施計画をたて、これを経済の動向や住民ニーズの変化に対応して、毎年ローリング（見直し）を行って、実施にあたっていきます。

町で行う投資的な事業のほとんどは、この総合計画をもとに行われているといえます。

このほど、昭和57年度から59年度までの3年間の実施計画がまとまりました。毎年の見直しにより事業によつては、この計画より早まったり、遅れたりするものもありますが、町づくりの基本方針ともいえます。

3年間の計画の中から主なものをひろつてみました。



▶ 入善市街地を
空より見る

昭和57年度

きれいな

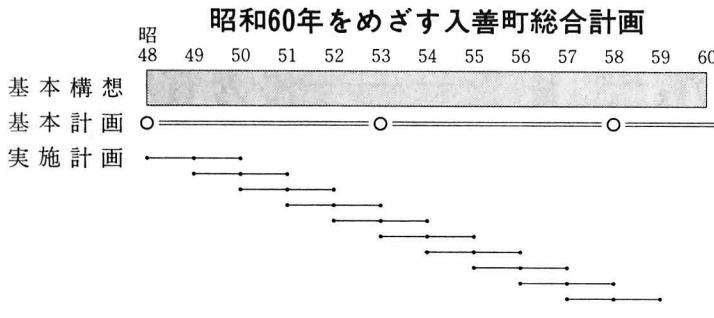
町づくり

- ◆ 離岸堤設置（58メートル）
 - ◆ 消雪工設置（380メートル）
 - ◆ 無雪害街づくり事業
- 入善市街地112ヘクタールを消雪工設置などで雪のない街づくりをめざします。

- ◆ 消防ポンプ自動車更新（1台）
 - ◆ 防火水槽（3か所）
 - ◆ 保安柵（1千500メートル）
 - ◆ 町営住宅（駅南団地）建設
- 56年度に続いて2年目。18戸を建設します。

ゆたかな 町づくり

- ◆ 霊柩車（マイクローバス型）
 - ◆ 運動公園整備（中央広場）
 - ◆ 農村公園整備（1か所）
- ◆ 君島禰山寺線新設改良
- ◆ 道路舗装（18キロ）
- ◆ 道路改良（9キロ）
- ◆ 中谷線開設（400メートル）
- ◆ 中野線開設（250メートル）
- ◆ 街路中央通り線改良
- 駅前から8号線へ通ずる都市計画道路新設のための調査事業。



- ◆街路中町線改良
- ◆集落排水路、都市下水路の整備 (1千750メートル)
- ◆新農業振興地域整備事業
- ◆防潮林設置(4キロ)
- ◆新地域農業生産総合振興事業
大幅な転作に対応するため、
麦、大豆等の生産用機械・施設
の整備を行います。
- ◆商店街環境整備
(歩道カラーブロック130メー

- ◆老人福祉センター建設 (基本設計)
- ◆障害者福祉の街づくり
庁舎玄関扉の自動化
- ◆上青小学校建設(2年目)
校舎、ランド造成、備品
- ◆中央公民館建設 (基本設計)
- ◆舟見(仮称)体育館建設 (設計委託)
- ◆じょうべのま遺跡保存整備 (調査)

昭和58年度

- ◆君島山寺線新設改良
- ◆柴垣邑町線新設改良(初年度)
(上青小学校通学用道路)
- ◆道路舗装(13キロ)
- ◆道路改良(8キロ)
- ◆農免農道整備 (調査、用地買収)
- ◆中谷線開設(400メートル)
- ◆街路中町線改良
- ◆集落排水路、都市下水路の整備 (1千250メートル)
- ◆防潮林設置(2キロ)
- ◆新地域農業生産総合振興事業
- ◆店舗共同日除け設置 (400メートル)
- ◆入善漁港改修
(東防波堤10・5メートル)
- ◆漁村センター建設(1棟)

昭和59年度

- ◆舟見山自然公園整備
- ◆君島山寺線新設改良
- ◆柴垣邑町線新設改良(2年目)
- ◆道路舗装(10キロ)
- ◆道路改良(5.5キロ)
- ◆農免農道整備(改良)
- ◆中谷線開設(400メートル)
- ◆街路中町線改良
- ◆集落下水路、都市下水路整備
- ◆新地域農業生産総合振興事業
第2次構造改善事業に続くも
ので、農業環境や生産基盤の整
備を行います。
- ◆商店街環境整備
(カラーブロック360メートル)
- ◆店舗共同日除け設置 (240メートル)
- ◆入善漁港改修
護岸(消波工)14メートル。
貯水庫、共同作業所、捲揚施
設の建設。

- ◆店舗共同日除け設置 (220メートル)
- ◆入善漁港改修事業
(東防波堤5.5メートル)
- ◆漁港施設整備
荷さばき所1棟を建設します。
- ◆沿岸漁業整備(並型魚礁3基)

- ◆除雪トラック1台
- ◆消雪工設置(400メートル)
- ◆無雪害街づくり事業
- ◆消防ポンプ自動車更新(1台)
- ◆防火水槽(3か所)
- ◆保安柵(1千メートル)
- ◆町営住宅(駅南団地)建設
3年目。30戸を建設します。
- ◆不燃物埋立地整備(設計委託)
- ◆運動公園整備
- ◆農村公園整備(1か所)

- ◆青木保育所改築
- ◆老人福祉センター建設
- ◆雇用促進住宅建設(2棟・80戸)
- ◆上青小学校建設(3年目)
体育館、外構工事、備品
- ◆飯野小学校増改築(用地買収)
- ◆舟見(仮称)体育館建設
- ◆じょうべのま遺跡保存整備 (基本設計)

- ◆老人福祉センター機能充実
ゲートボール場整備
- ◆スクールバス購入(1台)
- ◆飯野小学校増改築(初年度)
校舎、設計委託
- ◆総合体育館建設(基本設計)
- ◆じょうべのま遺跡公園造成

町の総合計画から

きれいな
町づくり

きれいな
町づくり

生きがいのある
町づくり

生きがいのある
町づくり

日本農業賞 富山県表彰を受賞



青木地区
花卉球根組合

NHK放送局と全国農協中央会が主催する「日本農業賞」の富山県代表に、青木地区花卉球根組合が選ばれました。

青木地区では昭和23年に球根組合を設立し、現在、19戸で約10ヘクタールを栽培し、1戸当たり作付面積、反当り出荷量も県下のトップクラスです。

受賞となったのは、生産者全体で栽培技術の研究と改善を進め、機械・施設を効率的に共同利用するなど地区ぐるみで取り組んでいる点です。

写真は受賞を喜ぶ組合の方々。

全国青年大会で 優秀賞を獲得



栲山地区青年団

「やった！全国2位だ」——栲山地区青年団は、11月8日に行われた全国青年大会演劇部門に出場し、最優秀賞に次ぐ優秀賞を獲得しました。また、出し物の「寒の入り」を書かれた同青年団OBの長島光雄さんも脚本賞を受賞され、ダブル入賞となりました。

同青年団は、7月の入善町青年祭、8月の県青年大会に優勝し、全国大会への出場は、49年以来2度目。

団長の上田勝朗さんは、「努力が報われ、たいへん喜んでいきます。よい結果が出たのも地区の皆さんのバックアップのおかげです」と話しています。

頑張っています 各分野で活躍する 人・団体

ジュニア・オリンピック 全国大会で第7位

樽井芳子さん
(舟見中3年・舟見)



昨年の「広報にゆうぜん」10月号でご紹介した舟見中学校の樽井芳子さんが、今年もまた大記録を残しました。

10月31日・11月1日に、東京国立陸上競技場で行われたジュニア・オリンピックの100メートル

樽井さんは、県大会を15秒0(第1位)、北信越大会を15秒10(第2位)でこの大会に臨みました。

高校に進んでもハードルを続けたいという樽井さん。今後の活躍を期待したいと思います。

県政功労賞 (農業部門)

を受賞

扇原久一さん(栲山・69歳)



富山県政功労者に対する表彰が11月2日、県庁大ホールにおいて行われ、農業部門において扇原久一さんが受賞されました。

扇原さんは、これまで50年余りにわたり米づくりの情熱を燃やし続けておられる方です。特

に、昭和37年から「コシヒカリ」の多収安定栽培に取り組み、倒れないコシヒカリづくり、いわゆる「入善方式」を編み出し、栲山地区から町へ、そして全県下に普及させました。

家では2.3ヘクタールの田を耕作し、コシヒカリの10アール当りの収量は、52年に722キロを達成され、ゆくゆくは800キロを目指したいと話されます。

このような実績から、県内各市町村の農協などへ講師として招かれたり、現地指導に出かけるなど精力的に活躍しておられます。

善 意 の 窓

あたたかいご芳志に感謝いたします。

入善町善意銀行(敬称略)

(10月19日～11月7日)

入 膳	北 陸 銀 行	円 10,889	愛の募金箱より
道 市	上 野 盛 義	30,000	亡母きよの供養として道市福寿会へ
上 野	小 林 益 男	20,000	亡父与吉の供養として上野第3福寿会へ
青木新	松 岡 忠 雄	30,000	亡庄一の供養として小摺戸下部福寿会へ
梶 山	入善ホール従業員一同	43,615	善意の意志で社会福祉事業資金として
	匿 名	10,000	幼児向きの本を買って下さい。入善町立図書館へ
入 膳	匿 名	10,000	社会福祉事業資金として(毎月)
青 木	中 林 富 雄	10,000	亡母ときの供養として青木下村福寿会へ
青 木	笹 原 初 雄	20,000	亡母かついの供養として青木下村福寿会へ
舟 見	西 尾 政 己	50,000	亡父清文の供養としてボーイスカウト舟見第2団へ
舟 見	西 尾 政 己	50,000	亡父清文の供養として舟見中部福寿会へ
新 屋	藤 田 重 吉	50,000	亡父重次の供養として新屋第2福寿会へ
新 屋	藤 田 重 吉	50,000	亡父重次の供養として社会福祉事業資金へ
福島新	高 島 秀 友	50,000	亡父健治の供養として小摺戸下部福寿会へ
福島新	松 田 数 雄	30,000	亡父政次郎の供養として小摺戸下部福寿会へ
野 中	大 道 松 男	50,000	亡母とりの供養として舟見寿楽苑へ

物品の部

目 川	杉 沢 吉 郎	古切手 150枚	日本赤十字社富山県支部へ
入 膳	富山日本電気 ミューSSTグループ	雑巾65枚	ボランティアの一端として新川むつみ園へ



除外申請をしない

農地転用ができません

新農業振興 地域整備計画

先月号の「広報にゅうぜん」で農地転用希望(農振除外)のとりまとめについてお知らせしましたが、次のことがらを十分にご承知のうえ手続をしてください。

昭58年から63年までの5年間に農地転用予定のある方は

必ず提出してください。

この転用希望(農振除外申請)を提出できないときは、農地の転用ができなくなります。

転用目的は農家住宅などに限られます。その内容について県と町で審査されます。

この農振除外申請を昭和57年1月31日で締切ります。

オラの財産だから

オラの自由だ?

「私の田んぼだから、つぶして家を建てよう」と、誰かに売ろうと

他人にはばかることはない。私の自由よっ」なんて考えたり、友達との雑談でウツカリ話したりします。このようなことは、誰にもあることで当然かと考えられます。しかし、憲法や民法、森林法、都市計画法、農地法、農振地域の整備に関する法律などで、公共のための「私権の制限」を明記しています。田や畑をつぶす(転用と

必要です。

転用できないところもありますから、転用許可申請の書類をお作りになる前に、農政課にご相談ください。

12月のスポーツ

職場対抗卓球大会

6日・午前9時
中央公民館ホール

町民バレーボール大学

6日・午前9時
入善西中学校

ファミリィ

スポーツ・コーナー
13日・午前9時
入善中学校

ジョギング大会

13日・午前9時
中央公民館集合

※元旦マラソン大会のコースを試走してみます。身体がなまりがちな日々、ぜひ参加してください。

運動能力適正テスト会

13日・午前9時
入善中学校

迎える人々

名簿もれや、町での成人式を希望される方は、今年いっぱいにご教育委員会へご連絡ください。



入善地区
男 38
女 43
81名

永原真由美 青木貴代美 大角寛之 田又浩美 舟川陽一 池田勝士 千田和人 米田由和 上野今日子 高島孝一 盛永章祥 米沢隆信 五十里良信 岩場真由美 館谷健

大角伸児 大角園美 田又浩美 舟川順子 上田順子 沢田玲子 矢野一子 飯田祐成 上嶋祐子 南嶋公信 米原由香子 五十里由香子 榎本奈保美 大塚和代 中瀬千明

藤野理恵 廣野三夫 上坂正之 田原透世 上田泰美 小山昌美 竹内克夫 中野博肇 野口徳徳 松倉恭子 岩場寛子 竹内雅子 熊崎英明 保坂進一 佐藤和幸 田中節子 田中節子 菅野則子 酒井幸子 鈴木陽子 鈴木かち子 高橋享子 畑中かず子 古市由紀子 宝泉明美

米沢昌樹 的場浩樹 辻昭義 大田三郎 藤谷三郎 草島麻緑 島田康和 南保和 能島円 真岩朋子 吉田伸子 黒崎洋美 赤川恭子 小林英紀 小川英紀 驚尾のぞみ 田中勉志 漆間洋之 五十里浩美 佐藤とみ子 杉本君枝 関沢由美子 長谷川あけみ 樋口雪子 五十里雅宏

上原地区
男 16
女 24
40名

青木地区
男 6
女 9
15名

岩田和代 泉照雄 泉成浩 木郁夫 松田真裕美 川原郁生

大沼いずみ 泉昌美 木田万由美 野沢淳子 高沢智子 木沢智子

池田慎一 板川厚美 森深雪 小田茂昇 宝田茂子 元安しのぶ 目沢浩一 安達薫 河野一薰 星山淑子 本多有佳 本多春美 近藤彰彦 金沢初男 長田聡美 泉剛 林浩美 保要裕茂 上島芳子 寺田清一 吉田由美子 池田和成 杉原徹

板川厚美 森深雪 小田茂昇 宝田茂子 元安しのぶ 目沢浩一 安達薫 河野一薰 星山淑子 本多有佳 本多春美 近藤彰彦 金沢初男 長田聡美 泉剛 林浩美 保要裕茂 上島芳子 寺田清一 吉田由美子 池田和成 杉原徹

飯野地区
男 27
女 28
55名

川瀬由美子 川瀬紀夫 石原伸生 石原真紀子 川口真紀子 長田順子 長田泰彦 東田正晴 岩田宜久 伊野園美 伊多智恵子 野坂義浩 浅倉義浩 倉田貢 森下清紀 清田里美 森岡千秋 高岡博一郎 高岡由香子 浜田由香子 山本力男 山本清秀 滝本清秀 南保雅子 竹田やよい 上島晴代 直井良子 飯田裕之 野田哲也 鳴先久義

木本喜代美 木本昌宏 杉沢千鶴子

- 年賀状をお出しになるときは、(1)入善町内(舟見・野中を除く)(2)県内(舟見・野中は県内へ)(3)県外(4)私製はがき
- 郵便番号は、詳しく、はっきりとお書きください。
- 年末の小包は、遅くとも12月15日までにお出しください。

年賀状は12月15日から受け付けます。年末が押し迫ってからお出しになると、元旦に間に合わない場合があります。12月13日の日曜日には年賀状を書きましよう。

年賀状は
12月20日まで



昭和56年度 成人式を

来年の成人式対象者は、昭和36年4月2日から37年4月1日まで生まれた方です。

白新
又田
邦昌
彦司
橋海
本道
優清
子二

新屋地区
男 18
女 12
30名

福高松城四月寺寺小
沢島島崎月林林路
多祐里美勝ひと章達毅
恵子子美勝とみ夫也明

小摺戸地区
男 9
女 7
16名

吉杉藤
田田塚
裕徹
子聡郎
上扇幅
島原崙
裕順真
美子理子

桐山地区
男 9
女 11
20名

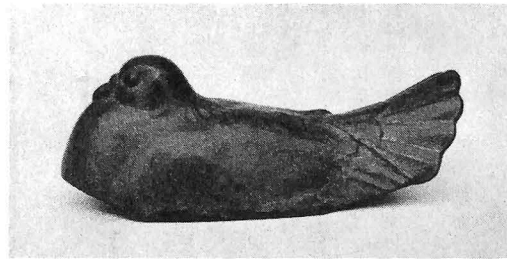
西長野後上浦水鍋金稲米永橋
島谷寺藤林滝野島森村山田本
隆浩安肇美彦子澄治敬渡美澄宏
昭安肇美彦子澄治敬渡美澄宏

今年1月に行われた成人式から。



永佐浜亀浜立森
山藤田田瀬花山
春広直司子巧子
恵彦直司子巧子

横山地区
男 10
女 10
20名



記念品「瑞鳥」 町出身の日展工芸作家 町出身の日展工芸作家 名取川雅司さんの作品です。

稲前長長波水長
垣田島島谷越島
照永ひろ正博久孝
美美子み子紀志志

全地区
男 148
女 159
307名

山酒小金稲大
本井松森村藏面
照利弘憲規和直
代幸美悦子子子

野中地区
男 5
女 8
13名

舟上羽桑樽高三山橋
貝野黒島井村賀本場
和恭宗美英博広祐久
彦男明雪一明美子久

舟見地区
男 10
女 7
17名

高神子
桜沢孝一
美恵一
廣草舟
川渡一
好克美
美範美



●申し込みは、1月15日まで中央公民館に作品を持参してください。
●審査の上、優秀作品を表彰し中央公民館に展示します。
●応募者は小学生以上。出品者には粗品を進呈します。

昨年ひき続き、手づくり年賀状コンクール(版画に限る)を行います。

第2回
手づくり年賀状
コンクール(版画)

私たちの広場



イラスト 渋谷美博 (桐山)

ご意見を お寄せください

「ひろば」はあなたのページです。「いいたいこと」、「聞きたいこと」、「あなたの地区のニュース」などをお寄せください。紙上匿名は自由ですが、原稿には必ず住所、氏名を明記してください。

あて先は役場庶務人事課広報係
(☎72-1100内線38)です。

町駅伝競走

飯野体協・入中が優勝

第10回入善町一周駅伝競走大会が11月8日に行われ、一般の部に11チーム(うちオープン参加が2チーム)、中学の部に6チームが出場、みぞれ混じりの悪天候の中

で熱戦を展開しました。

この大会は、役場前をスタートし、飯野、新屋、舟見、横山を経由する入善町一周のロードレースで、全長31キロを9人で走るもの

初めまして

長谷川哲夫です



▲「講演は初めてなんです」と控えめでしたが、なかなか堂に入ったものでした。(入善小学校で、10月24日)

入善町出身の俳優さんといえば、30代以上の方ならもうおわかりです。今月は、10月下旬に久しぶりに郷里にお帰りになられた長谷川哲夫さんにインタビューしてきました。

長谷川さんは、これまで数々の舞台、映画、テレビなどに出演され、現在、長門裕之さんの「人間プロ」というプロダクションの一員として活躍しておられます。

——こんにちは。長谷川さんご自身の紹介をお願いします。

長谷川 昭和13年に入善中町で産声を上げ、いま43歳です。俳優になったのは22歳のときですから、

もう20年余りこんなことをやっています。

——今回の帰省は？

長谷川 母校の入善小学校のPTAの方から、講演会の講師をやってくれないか……ということなんです。講演といっても、ざっくりばらんなおしゃべりで、自分がどうして俳優の道に入ったのかとか上京したてのころの思い出話を聞いていただきました。

会場となった小学校の講堂

には、長谷川さんを目撃見しようという女性が大勢つめかけました。

——どうしてこの道に？

長谷川 もともと劇というものに興味があったんでしょうね。入善高校時代は、演劇部に属していました。自称「演劇青年の私」が、3年の時でしたが、富山市で上演された「俳優座」の生の演劇に触れたときには、これまで暖めてきたものが心の中で一つに固まって行くような気がしました。あれが私の人生の岐路ともいえます。

——ご家族の方はどうでしたか？

長谷川 当然猛反対ですよ。私は菓子屋の長男として生まれ、家業を継ぐのは当たり前でした。高校を卒業して、菓子作りの見習いをやりながらも、心の中はいつも劇のことばかり。結局決心は変わらず、ある夜、誰にも告げずにそのまま東京へ……というわけなんです。でも、弟(邦雄さん)がいたからできたようなもので、あいつには、今でも頭が上がりません。(笑)

——久しぶりの入善は、いかがですか？

長谷川 やはり故郷は何ともいえません。町並みが見違えるようになりましたね。これからもますます変わって行くでしょうが、私ら町を離れた者が、いつ帰ってきてもくつろげる——そんな町であってほしいと思います。

——お忙しい中、有難うございました。

です。
熱戦の結末、一般の部では、飯野体協チームが大会新記録の1時間47分50秒で4連勝を、中学の部では、入善中Aチームが2連勝を飾りました。

一般の部

- 1位 飯野体協
タイム 1時間47分50秒
- 2位 舟見体協
タイム 1時間49分04秒
- 3位 青木体協



▶みぞれ混じりの中をスタートする選手団

タイム 1時間51分24秒

- 4位 芦崎クラブ
- 5位 小摺戸体協
- 6位 新和工業
- 7位 上原体協
- 8位 栢山走ろう会
- 9位 寺田町力行会

区間賞

- ▽1区 舟本幸永(舟見)▽2区 清田克司(芦崎)▽3区 高岡博一郎(芦崎)▽4区 飯作久和(飯野)
- ▽5区 水島敏彦(新和)▽6区 一島博文(飯野)▽7区 竹本武司(飯野)▽8区 飯作繁文(飯野)▽9区 山本良治(舟見)

中学の部

- 1位 入善中Aチーム
タイム 1時間46分54秒
 - 2位 入善西中Aチーム
タイム 1時間49分51秒
 - 3位 舟見中学
タイム 1時間50分05秒
 - 4位 入善中Bチーム
 - 5位 入善西Bチーム
 - 6位 入善西Cチーム
- 【区間賞】
- ▽1区 大川智(西中A)▽2区 上田浩行(入中A)▽3区 青木基人(入中A)▽4区 氷見克久(入中A)▽5区 塚田隆博・木本円知(西中A・C)▽6区 林昌夫(入中A)▽7区 南保涉(入中A)▽8区 野沢晃(西中A)▽9区 梅津博(舟見中)

ふるさとへの便り

『古いオルガン』



嶋田 和子 さん

板屋出身。昭和25年生まれ。魚津高校卒業後、名古屋市内の音楽学校を経て、シャンソン歌手に。
東京都渋谷区在住。芸名は水木陽子。

入善町のみなさま、お元気ですか。こうしてペンを走らせていますと、いま入善にいる私の同級生、私を教えてくださいました先生、親戚の人、そして近所の方々……、みなさんどうしておいでかしらとふと思います。

私にとって、ふるさととは私の父であり母であり、また大きなよりどころなのです。おかしなもので十数年都会暮らしをしておりますと、かえってふるさとが私の背骨を支えているようなそんな気になります。

さて、何かからお話ししましょうか。改めて言葉を探そうとしますと、照れや恥ずかしさが先に立つて思うようになりません。でもこの機会に(私事で申し訳ないのですが)、私の育った家のことと、父母のことを皆さまに聞いていただくと思えます。

家の片隅にホコリをかぶっているオルガンが置いてあります。私が5歳のころ父が買い求めたものでした。そのオルガンをまず母が弾き始めて、何となく私もさわるようになったのが最初の音楽との出会いです。

そのころ、母の伴奏で父と一緒に「浜辺の歌」とか「赤とんぼ」などを歌ったりして、わが家が随分なごんだものでした。

当時の父の育児日記に、『子どもは三人ほしい。一人は学者に、一人は医者、一人は音楽家になつて世の中に尽くしてほしい』などと書いてありましたが、私が大人になってそれを読み、つい笑ってしまいました。

なんて少年のようなロマンチックな若者だったのだろうと思ったり、子どものような夢をみていたんだな……と笑いが込み上げてきます。それにしても、まさか私が歌手になるなんてーもしかしたら父さえも思ってもみなかった、何となくこうなればいいな、と思っていただけのことを私が実行してしまつたのですから。

私が着々と歌手としての道を歩み始めたときから、父は心配のあまり何とも私とケンカをいたしました。私もつらかつたのですが、決して譲らなかつたのです。当然の役割で、母は私と父の間を行きつ戻りつして、私たちをとりもってくれました。

こうして何年間もお互いを解り合うために、幾度も幾度も同じようなケンカをしながら努力したのです。父も母も個人としての私を理解しようとして必死でした。

毎年開いている東京でのコンサートにも来て、私のスタッフとも語り合いながら、今では私の活動を認めてくれます。

ふるさとを想うとき、それは私の父であり母です。いつか私のステージを皆さまに聴いていただくときが必ず来ると信じて、こうしてペンをとりました。

またお会いできる日を楽しみにしています。さようなら。

水木陽子

あなたと図書館



本との出会い

ゆたかな人生

図書館に来る人のなかで、よく「うちの子は同じ本ばかり読んで読んでと言うの。いいかげん私の方か飽きてしまつて困っています」と嘆かれるお母さんがあります。おそらく、小さいお子さんをお持ちの方ならどなたでも経験されたことと思います。

繰り返して読んでというのは、大人が大好きな曲を何度も繰り返して聞くのと同じで、きっとその絵本には、子どもの感動する何か

が秘められているからに違いありません。

しかし、それは子どもの年齢や好みや興味の対象によつて決まるもので、どの子も等しく感動を受けるとは限りません。同じ一冊の絵本でも、深く感動する子もいれば、全然感動を覚えない子もいます。

ただ一つ言えることは、繰り返し読んでという本は、その子にとつて深く胸打つ何かがある証拠な

のです。言葉で感動を伝えることは、子どもにとつてまだまだ容易なことではありません。ですから、「読んで、読んで」とせがむ言葉のなかには、いろんな訴えが隠されているはずですよ。

どうぞお母さん、「いま忙しいから後で」とか、「もう一人で読めるでしょう」などとすげなく断らないで、できれば仕事の手を休めてでも読んであげてください。きっと心の豊かな子どもになることを受けあいです。

◆新着図書案内◆

眠る盃 小説 向田 邦子

姥ざかり 田辺 聖子
 男女だちの部屋 佐藤 愛子
 われらが風狂の師(上・下) 青山 光二
 一死、大罪を謝す 角田 房子
 傷 森 瑤子

吉里吉里人 井上ひさし
 おんな太閤記(下) 橋田寿賀子
 空の城 松本 清張
 ジュラルミン色の空 重兼 芳子
 父の詫び状 向田 邦子
 千利休とその妻たち 三浦 綾子

〈今月の表紙〉

商店で働く

お嬢さん

①	②	③	④	⑤	⑥
広報にゅうぜん					
⑪	⑩	⑨	⑧	⑦	
⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	
⑳		⑲	⑱	⑳	
㉑		㉒	㉓	㉔	

- ① 松島 瑞恵(青木・21歳) 農協スーパー勤務
- ② 星山 淑子(上野・20歳) 喫茶店「ヘイズ」勤務
- ③ 小川 和代(入膳・22歳) ミチイチ商店勤務
- ④ 坂東 和美(田ノ又・21歳) 農協スーパー勤務
- ⑤ 青木たみ子(舟見・23歳) 大角靴店勤務
- ⑥ 米島奈緒美(青島・19歳) ます子美容室勤務
- ⑦ 岡田多津子(入膳・23歳) 岡田自動車整備工場勤務
- ⑧ 渡辺 圭子(新屋・23歳) 扇原清月堂勤務
- ⑨ 寺林志雅子(入膳・23歳) 寺林家具店勤務
- ⑩ 小林 真理(入膳・18歳) 喫茶店「木馬」勤務
- ⑪ 永田 弘美(上野・24歳) 高島美容院勤務
- ⑫ 南地まり子(野中・23歳) 道原商店勤務
- ⑬ 池田富美恵(幸町・22歳) ミチイチ電気勤務
- ⑭ 花房 博子(舟見・21歳) 農協スーパー勤務
- ⑮ 小沢 則子(神子沢・25歳) 上田配管店勤務
- ⑯ 青木 一美(上飯野新・21歳) 農協スーパー勤務
- ⑰ 桐沢留美子(板屋・20歳) ワシントン靴店勤務
- ⑱ 荻田 峰子(福島・19歳) ナカタ金物店勤務
- ⑲ 柴垣みさえ(入膳・20歳) シバガキ趣味の店勤務
- ⑳ 板沢きよみ(横山・20歳) 岩場化粧品店勤務
- ㉑ 大角 園美(青島・19歳) 農協スーパー勤務
- ㉒ 野島津久子(舟見・24歳) 靴屋カメラ店勤務
- ㉓ 一島かおる(芦崎・19歳) ミチイチ電気勤務
- ㉔ 藤井 寿美(入膳・22歳) 藤井美容院勤務

今月の人口	
人口	29,586 (+11)
男	14,131 (+13)
女	15,455 (△2)
世帯数	7,390 (+14)
()は前月比	
11月1日現在住民登録	

冬休み子ども会
 ・12月26日(土)午後1時半～
 ・おはなし・ゲームなど
 ・福祉会館・第1会議室

11月の
 リクエスト図書
 ベスト5

- 1位 窓ぎわのトットちゃん
- 2位 小さな貴婦人
- 〃 小沢昭一的こころ
- 〃 人間万事塞翁が丙午
- 5位 姥ざかり

本予約は電話で気軽
 にどうぞ!!

TEL 72-1100
 内線 39